

(様式1-3)

福島県(葛尾村)帰還・移住等環境整備事業計画
帰還・移住等環境整備事業等個票

令和4年10月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	196	事業名	被災地域農業復興総合支援事業(肥育素牛生産施設整備)葛尾村	事業番号	(5)-43-42
交付団体	福島県	事業実施主体(直接/間接)	葛尾村(間接)		
総交付対象事業費	(1,701,426)(千円) 1,751,987(千円)	全体事業費	(1,701,426)(千円) 1,751,987(千円)		
帰還・移住等環境整備に関する目標					
<p><現状></p> <p>葛尾村では、平成28年6月に一部帰還困難区域を除き避難指示が解除された後、営農再開に向けた様々な取り組みを実施し、農業者の帰還を促しているが、村民の帰還はなかなか進まず、解除後5年を経ても帰還率は20%台にとどまっている。震災前の村の主産業は農業であり、水稻、畜産、葉たばこを中心に多様な農業が営まれてきたが、原発事故を受け、風評被害や除染に伴う地力の低下、後継者の流出など営農環境が大きく変わり、離農を考える農家が少なくない。</p> <p>原発事故前、葛尾村では肉用繁殖牛314頭(成牛287頭、育成牛27頭)、肉用肥育牛3,313頭(黒毛和種660頭、交雑種2,653頭)が飼養されていたが、避難指示解除後、帰村して畜産経営を再開する農業者は少なく、令和3年12月時点の飼養頭数は、肉用繁殖牛137頭(成牛133頭、育成牛4頭)、肉用肥育牛122頭(黒毛和種122頭)にとどまり、繁殖牛、肥育牛いずれの飼養頭数も、避難前の水準には遠く及ばない。</p> <p><農業復興の方向性></p> <p>本村の農業再生の拠点として、肥育素牛生産施設を整備し、素牛市場相場に左右されずに安定的に肥育素牛を確保できる繁殖肥育一貫経営への転換を支援することにより、和牛生産基盤の復興を図り、村内で新たな雇用を創出するとともに、飼料生産の拡大や地力の回復等により避難農業者等の営農意欲を高め、農業者の帰還および村外からの新規参入を促す。</p> <p>また、堆肥舎を整備することで良質な堆肥を製造し、主として地域内の農家に供給することにより、除染で失われた地力を回復し、農産物の収量向上を図るなど、当該和牛生産事業を中心として地域の耕畜連携を進め、村内遊休地解消を目指す。</p>					
事業概要					
<p><本事業で施設を整備する理由></p> <p>肥育素牛生産施設の整備により、震災前の葛尾村で盛んであった和牛生産業の復興、雇用創出を図り、村民の帰還や営農再開を促進する。</p> <p><整備内容></p> <p>(1) 上野川牧場①(敷地面積15,789.54㎡、建築面積3,474.40㎡)(畜種:和牛)</p> <ul style="list-style-type: none">・整備概要:繁殖牛舎、分娩牛舎、育成牛舎、飼料資材庫、堆肥舎、管理棟 各1棟 牛舎内作業用機械一式、堆肥運搬車 1台・規模:繁殖牛180頭、育成牛101頭、哺育牛43頭 <p>(2) 上野川牧場②(敷地面積14,017.96㎡、建築面積3,578.08㎡)(畜種:和牛)</p> <ul style="list-style-type: none">・整備概要:繁殖牛舎、分娩牛舎、育成牛舎、飼料資材庫、堆肥舎、管理棟、機械格納庫 各1棟 牛舎内作業用機械一式、飼料生産用機械一式					

<ul style="list-style-type: none"> ・規 模：繁殖牛180頭、育成牛101頭、哺育牛43頭 ・飼料生産：品目及び受益面積 デントコーン4ha、牧草7ha 	
(3) 大笹牧場（敷地面積8,864.99㎡、建築面積3,604.00㎡）（畜種：和牛）	
<ul style="list-style-type: none"> ・整備概要：繁殖牛舎、分娩牛舎、育成牛舎、飼料資材庫、堆肥舎、管理棟、機械格納庫 各1棟 牛舎内作業用機械一式、飼料生産用機械一式 ・規 模：繁殖牛180頭、育成牛101頭、哺育牛43頭 ・飼料生産：品目及び受益面積 デントコーン4ha、牧草7ha 	
(4) 物価高騰による事業費の増額	
新型コロナウイルス等の影響を受けた部材の高騰により事業費を増額する。	
<市町村計画等>	
<ul style="list-style-type: none"> ●葛尾村農業再生事業化計画「美しい農がある風景を再び かつらお」 <ul style="list-style-type: none"> 1. 基本方針 3. 農業再生への目標、4. 農業再生への道のり ●葛尾村農業再生アクションプラン 	
当面の事業概要	
<令和2年度>	設計委託、地質調査 27,182千円
<令和4年度>	建設工事、監理委託、さく井工事、機械等導入 (1,674,244千円) 1,724,805千円
<全体事業費>	(1,701,426千円) 1,751,987千円
地域の帰還・移住等環境整備との関係	
<p>当村の基幹産業は農業であり、地域が再生・復興するためには、農業の再生・復興が必要不可欠である。しかしながら、避難指示解除から4年が経過し、「震災前の農家数の確保は困難」であることが明らかとなり、「意欲ある農家の規模拡大や和牛の繁殖・肥育一貫経営への発展を進め、頭数拡大を目指す」ことが求められている。そこで、村内で和牛の肥育経営を志向する農業者3法人を貸与予定者とする肥育素牛生産施設を整備し、繁殖・肥育一貫経営への転換を促すことにより、村内飼養頭数の拡大を図る。</p> <p>当事業により整備される肥育素牛生産施設では、9名の雇用が創出される見込みであり、農業者が和牛肥育に取り組む環境が整備されれば、今後村の農業を担っていく意欲ある農業者の帰還および流入が促進される。また、土地利用型作物である飼料作物の生産規模が拡大されることにより、耕作放棄地が減少し、村全体の農業振興並びに地域再生が図られる。</p>	
関連する事業の概要	
○効果促進事業	第31回申請 測量設計 28,430千円
	第35回申請 敷地造成工事 899,231千円

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

